

第35回

ありのまま 生活福祉講座



座長

あきこじよおうてんか
彬子女王殿下

日時

令和6年6月22日(土)
13:30 ~ 16:00

場所

仙台市中小企業活性化センター
5階 多目的ホール
〒980-6105
宮城県仙台市青葉区中央1丁目3-1

参加費

一般 2,500円 (学割・団体割有り)
会員 2,000円
(入会金 1,000円、年会費 2,000円)

講師



かわい じゅんいち
河合 純一 氏

(公益財団法人日本パラスポーツ協会理事、
日本パラリンピック委員会委員長)

1975年静岡県浜松市生まれ。15歳で全盲となる。1992年バルセロナパラリンピック大会から2012年ロンドンパラリンピック大会まで競泳日本代表として、6大会連続で出場し、金メダル5個を含むパラリンピック日本人最多の通算21個のメダルを獲得し、日本人初のパラリンピック殿堂入りを果たす。2020年より日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会委員長。東京2020パラリンピック競技大会日本代表選手団団長、北京2022パラリンピック冬季競技大会団長を務めた。

御講話「パラスポーツを通して考える共生社会」

寛仁親王殿下の第一女子として誕生。学習院大学を卒業後、オックスフォード大学マートン・コレッジに留学。日本美術を専攻し、海外に流出した日本美術に関する調査・研究を行い、2010年に博士号を取得された。女性皇族として博士号の取得は史上初のことである。子どもたちに日本文化を伝えるために、ご自身で一般社団法人「心游舎」を創設、総裁に就任され、全国各地でワークショップなどを行われている。

御講話「赤と青のガウン—オックスフォードに学んで—」

ありのまま生活福祉講座とは

福祉を身近なものとして理解して頂き、共に考えていく場となることを願い、1987年より毎回開催しているものです。当講座の座長には、前座長の故寛仁親王殿下の第一女子であられる彬子女王殿下が、第29回よりご就任くださいました。福祉にとらわれず各方面にわたってご活躍されている方々を講師にお招きして開催しています。

会員特典 (限定 300名)

福祉講座会員とは、本講座の意義をご理解頂き、長い目でご協力頂ける方になります。初回のみ入会金1,000円と年会費2,000円がかかりますが、その年の福祉講座参加費が無料となります。

また、右の受講ノートが貰え、講座に参加する度に、受講印・オリジナル座長印が押印されていきます。



ありのまま生活
福祉講座 座長
彬子女王